

○昼も夜も歩いて楽しめるまちなかの実現に向け、歩行空間の整備等による賑わい創出、回遊性向上を図る。
 ○花博期間中に社会実験等を実施し、ニーズの把握や交通への影響評価等を行った。

辛島公園北側道路歩行者空間化

5月3～5日 (GW3日間)

花畑広場イベント時における周辺交通への影響を検証する通行止め社会実験を実施

- 自動車交通量：前回(R3.3.1)から約2割減少
→周辺交通へ大きな影響なし
- 歩行者通行量(新市街交差点)
：前回(R3.2.28)から約4割増加
- アンケート調査：約9割が歩行空間化に賛成



歩行空間化し休憩施設を配置

⇒結果の検証及び関係者協議を行い、歩行者空間化に向けた検討を進める。

グリーンスローモビリティ※

5月13～22日 (10日間)

高齢者の移動支援や観光客の周遊促進に向け、まちなかでの導入可能性を検討

- 花畑広場～熊本城間を走行
- 延べ約2,000人の利用(連日ほぼ満員)
- 約9割が導入に肯定的(有料でも利用)
- 周辺交通への大きな影響はなかった。



『楽しい・非日常が味わえる』
『行幸坂の移動ができて便利』

⇒アンケート分析・関係者との協議等を踏まえ、引き続き導入の可能性を検討。

※時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス

銀座通りの利活用

5月22日 (花博最終日)

地元商店街の道路空間利活用等による賑わいの創出

- 商店街と市で、賑わい創出に向けた利活用イベントを実施。
- 約600人の来場。
- 歩行者通行量が約4割増加 (R3年調査比)



歩道上にテラス席を設置
沿道店舗のテイクアウト飲食

⇒継続的なイベントや社会実験等により、気運の醸成を図り、商店街と共に銀座通りらしい利活用方法を検討する。

市民会館前の歩道拡幅

熊本城と庭続き「まちの大広間」の実現、回遊性向上

- これまで、歩道拡幅した場合の交通解析、隣接地権者へのヒアリング等を実施。
- 道路空間と市民会館前のオープンスペース等の一体的な整備と利活用を検討。



歩道拡幅・一体整備利活用のイメージ

⇒市民WSや地域住民等の意見、景観審議会専門委員会のアドバイス等を踏まえ、利活用やデザインを行う。

	R 3	■花博■	R 4	R 5以降
辛島公園北側道路	関係者協議(交通管理者等)	社会実験等を実施	結果の検証	歩行者空間化に向けた検討・設計
グリーンスローモビリティ	関係者協議(交通管理者等)		効果検証・課題整理	関係者協議、導入可能性の検討
銀座通り	関係者協議(商店街等)・社会実験等の企画		社会実験等の実施	検討体制の構築 デザイン等検討
市民会館前	関係者協議(交通管理者等)・検討体制構築		利活用・デザイン検討等	設計 工事